

文芸

短歌

○舞い飛べる蝶々や蜂を待ちてお
り南瓜大きく花をひらきて
中島三千代(桜の郷)

●「異常なし」診察室からVサイン
夫の笑顔に足取り軽し
浦井 正子(宮ヶ崎第四)

●浴室の棚に残れる浮人形そのま
まにして子等は帰りぬ
二宮不二子(大戸)

●草を刈り空き缶回収ごみ拾い潤
沼湿原守る町民
河野 久子(昭 和)

●雨上り朝空青く田に出れば愛宕
の山は緑濃くして
田口すい子(南川又)

●植え終えし苗に綻ぶ月の影蛙の
合唱なぜか聞こえぬ
岡山 一二(上石崎)

●薫風や若葉の香り爽やかに庭の
白樺濃く色を増す
萩谷彰一郎(長 岡)

●手を取りて共に過せし五十余年
苦勞もみんな楽しい思い出
清水 操(馬 渡)

●手作りのケーキを添えて家族よ
りプレゼント届く今日誕生日
秋山 禮子(越 安)

●のどかなり起床ラッパは山鳩の
デデッポッポがおらの故郷
高田 宗雄(大 戸)

(評) 中島さん「花粉が付かないと南瓜は実にならぬ。自然の営みは、うまくできている。それを詩的に表現できる技能が光っている。浦井さん「検診に同行。「何か言われるのかな」との思いが夫のVサイン。終りの「足取り軽し」に安心が出ていたのか。二宮さん「子」を思ふ親人形は残っていたのか。忘れていったのか。浮人形はこれからは風呂に浮かべてみたりするのだろうか。河野さん「潤」がラムサール条約の湿地に登録された。今後、潤滑を保全しつつ

俳句

○吊橋を少ししたるませ初夏の風
中島三千代(桜の郷)

●夕やみにあじさい明りぼんやりと
秋山 禮子(越 安)

●天辺をめぐりて咲けり立葵
田口すい子(南川又)

●山百合の花咲き匂う里の山
浦井 正子(宮ヶ崎第四)

●コシヒカリ家畜のエサを神怒る
岡山 一二(上石崎)

●月朧ろ蛙の声も子守唄
清水 操(馬 渡)

●開花せしハイビスカスへ空碧し
高田 宗雄(大 戸)

●補植せし植田隅まで風注ぐ
西 風次郎(常 井)

●終戦時瘦せたる子等もいま八十路
萩谷彰一郎(長 岡)

●おはようと娘待ちいる上がり花
田口 正子(南川又)

(評) 普段何気なく見る景色も、ちよつとした自然の変化で心にとどまることがある。中島さん「初夏の風を意識した時、吊橋の情景の変化が俳句になった。秋山さん「日が暮れて夕闇の中になつた。田口さん「立葵という言葉を寄せた。田口(子)さん「立葵という言葉をとおもひ、天に向かつてまっすぐに咲いている。花も葉も大きく美しい。浦井さん「山百合の花が、今を盛りと咲き誇っている。「匂う」に力強さを感じる。田口(正)さん「上がり」は煎じたばかりの茶のこと。「おはよう」の言葉が明るくきれいだ。

その恵みを活用していくにはどうするべきか、町民全体で考えていきたい。

作品の送付先

ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、月末までにお送りください。
郵便 便 311-13192 茨城町小堤1080
FAX 292-6748
【問合せ先】 まちづくり推進課 宛
〒240-0292 茨城町まちづくり推進課 宛
☎(240) 7126

すこやかニュース

健康増進課
(保健センター)
☎ 240-7134

家庭でできる夏の食中毒予防

食中毒の約1割は家庭で発生しています。特に夏場は、キャンプ場や海水浴場で、バーベキューなど屋外で調理をする機会が増えますので注意が必要です。

食中毒の原因となる菌やウイルスは、食品についても目で見えず、味・臭い・色が変わりません。

食中毒予防の三原則「食品に菌をつけない・増やさない・やっつける」を意識して調理し、食中毒を予防して元気に夏を過ごしましょう！

【食中毒予防の三原則】

- 一 食中毒菌をつけない！
調理前には良く手を洗いましょ。生の肉や魚を扱った、まな板、包丁はその都度きれいに洗浄しよう。
- 二 食中毒菌を増やさない！
料理は早めに食べましょ。食べ物(特に生もの)は放置せず冷蔵庫にいれましょ。
- 三 食中毒菌をやっつける！
食品の内部まで十分加熱ましょ。ふきん、包丁、まな板などの調理器具は定期的に消毒し、よく乾燥ましょ。



健康増進課 (保健センター) 8月の予定			
日	曜日	事業名	受付時間
3	月	大腸がん検体回収 (27日も実施) 申込者対象 健診結果説明会 中石崎公民館 長洲公民館	8:30~10:00 9:30~10:30 13:00~14:00
5	水	健診結果説明会 ゆうゆう館保健センター (17, 24日も実施)	13:00~13:30
18	火	健診結果説明会 宮ヶ崎農村集落センター	13:00~14:00
21	金	2歳児歯科検診	12:50~13:30
28	金	乳児健康診査	13:00~13:30
31	月	健診結果説明会 木部東部新農村集落センター 上飯沼新農村集落センター	9:30~10:30 13:00~14:00

『個人情報流出に便乗した電話にご注意ください』

日本年金機構における個人情報流出に便乗して、日本年金機構や消費者庁、国民生活センター、消費生活センター等の職員を名乗り、

「あなたの年金情報が流出している。」
「流出した年金情報を削除できる。」
「年金受取口座のキャッシュカードを送るように。」
「年金用の口座番号、暗証番号を教えてください。」

などと云う電話やメールがあったという相談が全国で増えています。



実際にキャッシュカードをだまし取られ、三百万円が引き出される詐欺被害も発生しています。この件に関し、日本年金機構やそのほかの公的機関から消費者へ電話やメールで連絡したり、個人情報を聞き出ししたりすることは絶対にありません。このような不審な電話がかかってきたら、相手にせず、すぐに電話を切ってください。少しでも不安なときは、町消費生活センターや警察に相談してください。

【問合せ先】 茨城町消費生活センター ☎291-1690

あぶないよ よそみ いねむり けいたいでんわ 夏の交通事故防止県民運動実施中！ (7月20日~8月20日)

夏休み期間中は子どもが交通事故に遭う危険性が高まります。自動車を運転する際は、子どもや高齢者に十分注意し、減速・徐行・一時停止をするなど、思いやり運転に努めましょ。

まちかどレポ No.1

おじいちゃんの思い出 久しぶりの休養日

レポーター 萩谷 彰一郎

それは70年前の8月15日であった。朝からの強い日差しは真夏そのものであった。その日は天皇陛下がラジオで玉音放送をするということで、仕事を休んでそれを待った。仕事とは、8月2日の水戸空襲で我が家も焼尽と化したため、母と二人で常陸太田の母の実家から焼け跡整理に通っていたことである。

昼ごろ、ラジオの前で正座し、頭を下げて放送を聞いた。私は内容が分からなかったが、祖父が一言「日本は戦争に負けたんだ」と言った。誰も声を上げなかった。

水戸空襲の前、6月中旬だったと思うが、水戸の自宅から那珂郡檜澤村という所へ疎開をしていた。疎開先では、母と一緒に水戸の自宅へ荷物を取りにいくことと買い出しの毎日であった。農家への買い出しでは、お金では売ってくれなかったため、自宅から運んだ品物を持って行き物々交換をした。丘の上にあった学校から聞こえる声を聞くと、「学校へ行きたいなあ」と思ったが母には言えなかった。そんな日々であったが、水戸空襲を機会に前述の常陸太田へ移った。

私が幼稚園生の時に戦争がはじまり、3年8か月に及ぶ戦いは一般市民を巻き込んで多くの犠牲者をだし、生活の糧を奪っていった。五軒町に住んでいた祖母の妹も空襲の犠牲になった。当時、国民一人ひとりが、何らかの形で戦争に関わりを持った。疎開から戻って再会した級友の屈託のない笑顔を見て、「平和とはいいいものだなあ」と思った。

毎年、8月15日を迎えるとその日々を思い出す。私たちは、二度と悲惨な戦争を起こさなければならないため、平和を保つための努力をしなければならないと思う。いつまでもこの平和が続くよう祈らずにはいられない。

まちかどレポーター募集中!

「広報いばらき」では、「まちかどレポーター」を募集しています。地域の話や身近な出来事などを広報紙に掲載してみませんか?

【応募・問合せ先】
まちづくり推進課
☎(240) 7126